

永江 亘 先生

先生のプロフィール

【出身地】

広島市

【専攻】

商法・会社法・金融商品取引法

【近年(2~3年)の担当科目】

ミドル・アドバンスト演習

外書購読・会社法（ロースクール）

【コロナ後に行きたい場所(国内でも外国でも)】

ヨーロッパ・東南アジア・日本の離島



1. 先生の研究内容、科目の魅力について

Q.講義時に心掛けていることはありますか？

A.学生さんには会社という存在が身近でないことから、とにかく新鮮な事例を取り入れることに注力しています。また、ロースクールでの講義担当ということで、条文検索と条文操作能力の向上を意識しています。

Q.新入生、初学者に向けて先生の研究内容、科目の魅力について教えてください。

A.元々は、中小企業法に興味を持っておりましたが、上場企業が非上場化する取引の研究を開始してから、企業買収全般を研究するようになりました。現在では、資本をどのように分配するのが社会的に望ましいのかという疑問から、非上場会社への出資のあり方について研究しています。なので、法律だけではなく、会計学や経営学、統計学なども学習する必要があって、正直大変です。

Q.今の専門科目に興味を持った理由はなんですか？

A.抽象的な概念が比較的少なく、金銭的な利害がからむ問題が多いため、「ドライ」な部分が多いところに魅力を感じます。倫理・正義といった概念よりも、「効率性」「合理性」が優先され、制度的にも常にコストが意識されているところが「大人の学問」のように感じました。

2. 先生のゼミ、ゼミ生の特徴・特色について

Q.私たちは永江ゼミについて、明るくて元気なゼミだと思っています。先生はどう思っていますか？

A.本学に赴任して5年が経過しましたが、コロナ禍もあり、ゼミのカラーみたいなものはまだ見えてきませんが、比較的自由にやっていただいているのではないかと思います。教員として本学部の中でも突出して威厳がないことも一因と思っています(笑)。

Q.私たちは今後このゼミをより活発な議論のできるゼミにしたいと思っています。先生はどういうゼミにしていきたいですか？

A.学習面では、引用する文献や引用方法など、「最低限のマナー」については比較的厳しく見っていますが、報告のテーマ設定、プレゼンの手法については、自由度を高くしておきたいと思っています。ゼミの運営としては、元気なゼミであっていただけると良いかと思います。卒業生の皆さんとの交流もあるゼミですが、学生時代の友人は「利害関係を有さない」という意味で、非常に貴重な存在になります。良い友人になるには、様々なチャレンジ体験を共有するのが良いかと思います。あらゆることに前向きに取り組むゼミであっていただきたいと思っています。

Q.先生が過去に担当していたゼミ（およびゼミ生）の特徴はどうでしたか？

A.様々な属性の進路を選択される方が多く、学者から裁判官・士業・官僚・金融機関・メーカー・スーパーゼネコン、船のオーナー向け保険組合などニッチな業界にお勤めの方もいらっしゃいます。皆さん、学生時代に自分の付加価値を向上させるために、ブラッシュアップしておられましたが、そのような努力をされる方は、全体的に「宴会好き」だったように思います…どうしてだろう？ゼミ旅行や卒業旅行も行い、海外も含めてアクティブに行動するゼミでした。

3. 先生の学生時代の話

Q.先生が勉強以外でも力を入れていたことはなんですか？

A.学生時代は反社会的なメッセージを含む稚拙なバンドをやっていました(笑)。いろんな大学学園祭を巡ったり、遠征に行ったりしました。日本の商法界では一番ドラムが叩けるのではないかと勝手に思っています(笑)

Q.先生が学生時代に失敗したいことや後悔していることはありますか？

A.学部時代の学習量をもっと増やせたのではないかと思います。とりわけ、(どの科目といいませんが)嫌いな科目はどうしても敬遠してしまいがちでした。また、学習以外の面では、イチロー選手やロナウジーニョ選手など、その時しか見られない人たちの素晴らしいパフォーマンスは、その時に無理をしても見に行く方が良かったと後悔をしています。

4. 学生のうちに経験すべきこと、つけておくべき力

A. 何事も経験と思いますが、社会人と話をするなどの体験は積極的にしておくべきかと思います。食事のマナーなどは、早いうちに身に着ける方がよいと思います。

また、読書習慣は必ず身に付けておくべきかと思います。社会人になって自分の時間が大きく制限される中で、自己研鑽できる人物とそうでない人物の伸びの差は、大きな違いになります。

Q. 先生の好きな言葉(座右の銘)はありますか？

A. 座右の銘を持たないことが信条です(笑)強いて言えば「成長とは変化なり」ですかね。いつも今の自分を否定して変化できるように生きていきたいと思っています。

Q. もし先生が現代の大学生だったら(先生が学生の時という意味ではなく)、どんなことをしたいですか？

A. 理系の道に進んで、人類に貢献できるものを開発したいです。

Q. もし先生が面接官だったらどんな学生を探りたいですか？(ゼミ面接ではなく就職面接寄りで)

A. ゼミでも就職でも同じことかと思いますが、元気があって、前向きで、誠実な方を探りたいと思います。

5. 学生に向けて一言お願いします

A. 学生時代にしかできないことと、今後の人生でもできることを区別して、「今しかできないこと」「将来のための投資になること」にリソースを投入して、充実した人生にしていきたいと思います。

★ アドバンスト 永江亘ゼミの実態！(2022 年度ゼミ生 14 名)

★ 永江 先生のトリセツ

- ・ 美食家
- ・ 優しい反面厳しさもある
- ・ 子煩悩
- ・ 現実主義 (ディズニーマンチ)

日々や休暇中の課題

活動内容

【日々の準備、課題】

各回指名でプレゼンを行うため、プレゼンに備えてレジュメを準備する。日経新聞から興味のある記事を探して題材に用いる。

【長期休暇課題】

プレゼンのための情報収集
→日経新聞、論文等

生徒がどれだけ積極的に質問するかによって討論の活性度が変わってくるので、質問力が身につくと思います。授業でプレゼンをするので、正しい情報収集の仕方を学ぶことができます。